

令和5年（2023年）アライグマ春期捕獲推進期間における実施状況

1 春期捕獲推進期間について

アライグマを効果的に捕獲するため、平成27年度（2015年度）から、アライグマの出産・授乳期で餌を求めて活動が活発となる4～6月を「春期捕獲推進期間」として設定し、市町村へ積極的な捕獲を呼びかけてきた。

また、平成30年度（2018年度）に実施した「アライグマ対策に関する市町村実態調査」で、3月の捕獲数は4月と同程度であることが判明したため、平成31年（2019年）から推進期間を1か月早めることにより更なる捕獲効果の向上を図ってきた。

この度、「令和5年アライグマ春期捕獲推進期間に係る捕獲等実績調査」により市町村から提供された捕獲頭数等の情報を基に、令和5年（2023年）の春期捕獲推進期間中（3～6月）の取組状況を次のとおり取りまとめた。

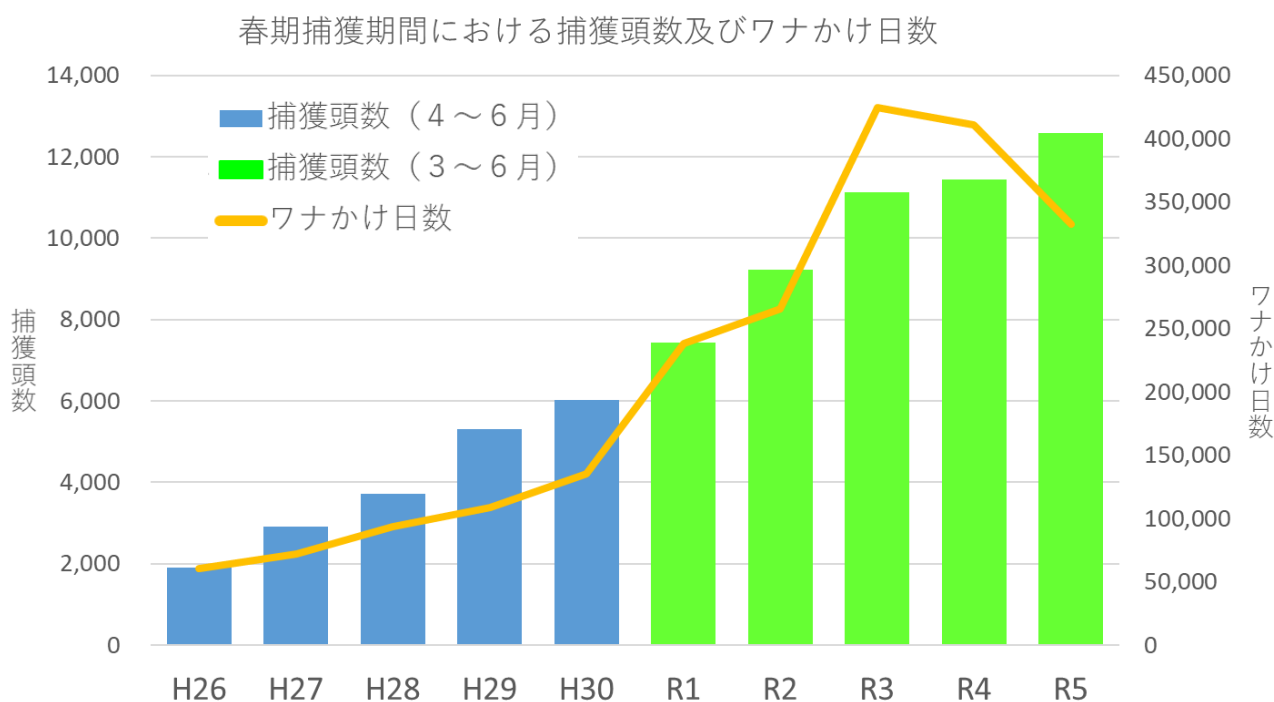
2 結果

（1）実施状況及び結果（全道）

- ・本年のワナかけ日数は2年連続の減少となり、前年の約8割と大きく減少した・
- ・捕獲頭数は開始年より継続する増加傾向を維持し、令和5年度は例年より1割ほど増加する12,577頭となった。
- ・平成26年（4～6月）と比較すると、本年のワナかけ日数は5.5倍、捕獲頭数は6.6倍であった。

年	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
捕獲頭数	1,912	2,904	3,705	5,306	6,013	7,429	9,217	11,123	11,443	12,577
ワナかけ日数	60,681	71,995	93,559	108,733	135,042	238,136	265,403	424,785	410,626	332,467

※ H26～H30は4～6月、R1以降は3～6月の実績

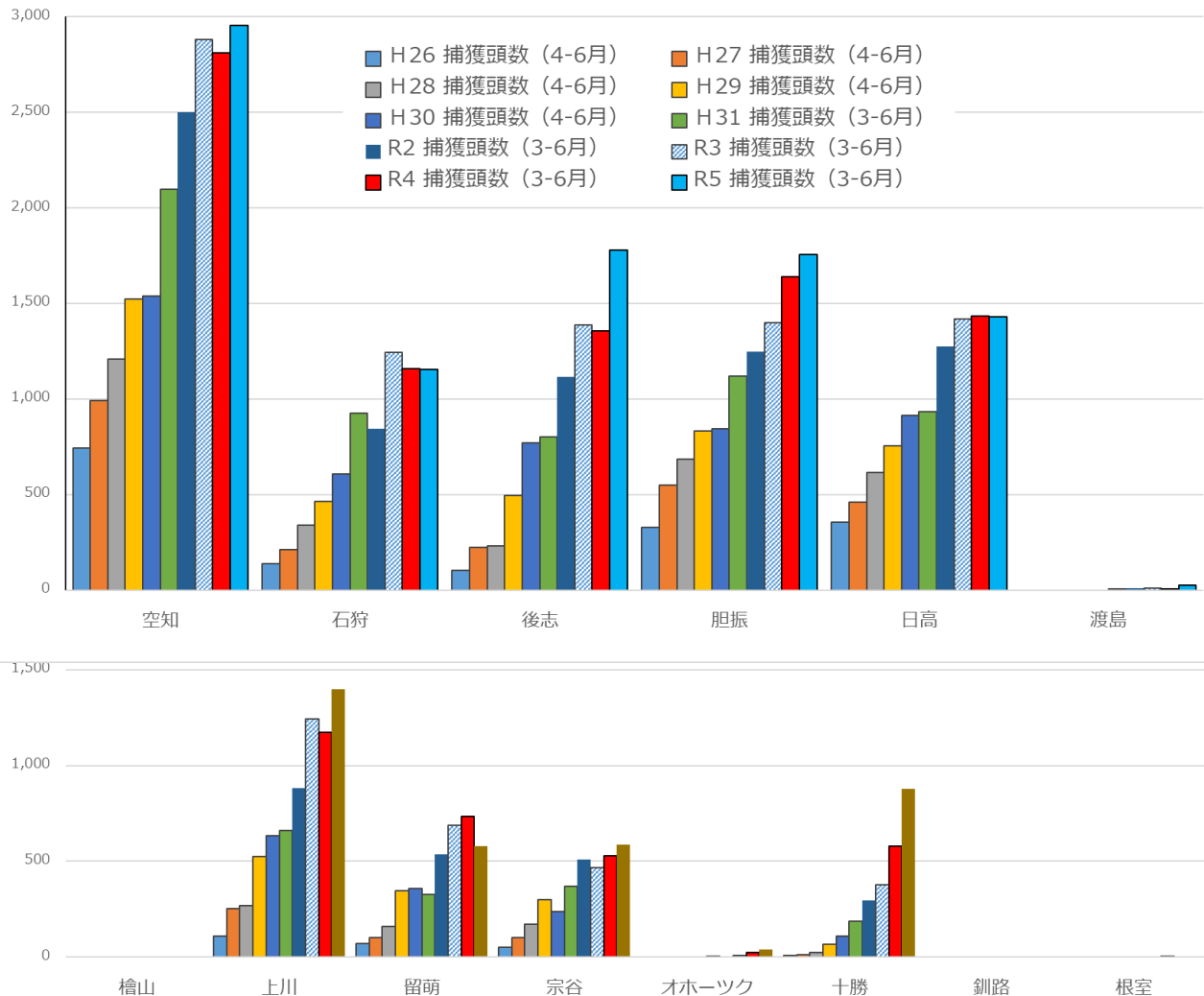


(2) 実施状況及び結果 (振興局別)

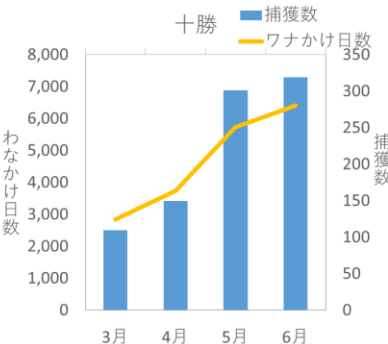
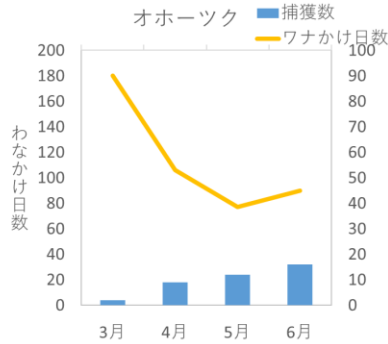
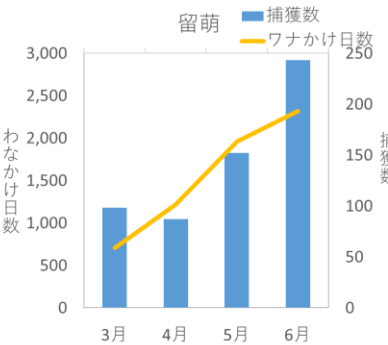
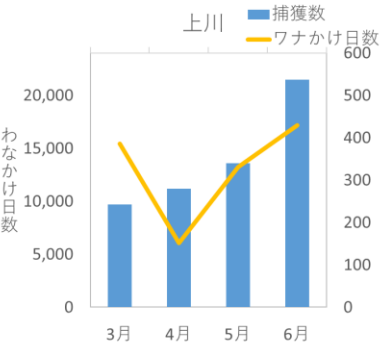
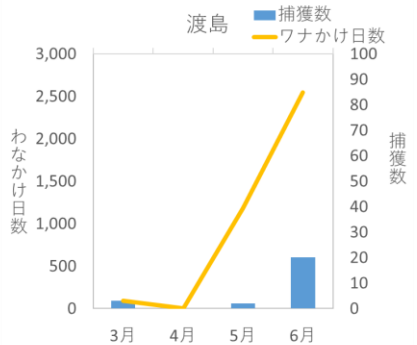
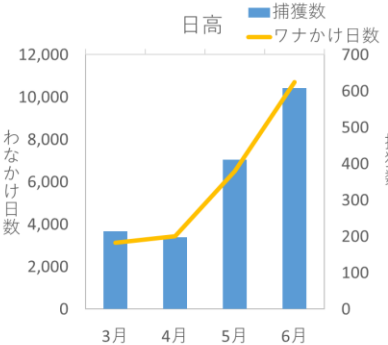
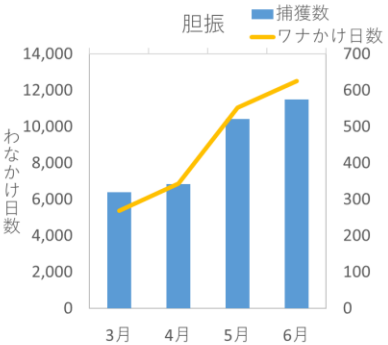
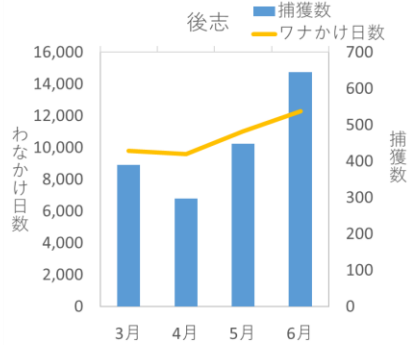
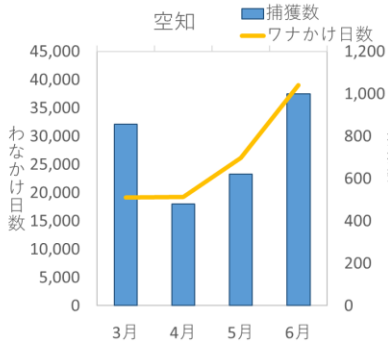
- ・本年は11の(総合)振興局管内で実施され、空知、石狩、後志、胆振、日高、上川、宗谷、留萌及び宗谷では管内の全ての市町村(離島除く)で実施された。
- ・ワナかけ日数の前年比減少率が特に高かったのは石狩、上川、留萌及び宗谷、増加率が最も高かったのはオホーツクであった。
- ・捕獲頭数について、前年比での増加が顕著だったのは後志、上川及び十勝であった。

	R4			R5			前年差 (R5-R4)			前年比 (R5/R4)	
	実施市町村数	ワナかけ日数	捕獲数	実施市町村数	ワナかけ日数	捕獲数	実施市町村数	ワナかけ日数	捕獲数	ワナかけ日数	捕獲数
空知	24	122,117	2,809	24	103,457	2,953	0	▲ 18,660	144	85%	105%
石狩	8	56,046	1,157	8	38,632	1,155	0	▲ 17,414	▲ 2	69%	100%
後志	19	46,413	1,357	20	42,632	1,779	1	▲ 3,781	422	92%	131%
胆振	11	33,653	1,640	11	35,719	1,754	0	2,066	114	106%	107%
日高	7	21,724	1,432	7	23,790	1,431	0	2,066	▲ 1	110%	100%
渡島	1	3,202	6	2	3,819	25	1	617	19	119%	417%
檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
上川	23	69,044	1,172	23	51,897	1,397	0	▲ 17,147	225	75%	119%
留萌	8	12,051	736	8	6,197	580	0	▲ 5,854	▲ 156	51%	79%
宗谷	7	23,817	528	7	7,185	586	0	▲ 16,632	58	30%	111%
オホーツク	3	330	25	3	453	39	0	123	14	137%	156%
十勝	16	22,229	581	16	18,686	878	0	▲ 3,543	297	84%	151%
釧路	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
根室	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	127	410,626	11,443	129	332,467	12,577	2	▲ 78,159	1,134	81%	110%

アライグマ春期捕獲推進期間振興局実施結果 (平成26年～令和5年)



- ・空知、石狩、後志、日高、留萌及び宗谷では、捕獲数が4月に一度減少したのち5月には回復し、6月が最も多くなるという傾向で一致していた。
- ・ワナかけ日数は、多くの（総合）振興局で月が進むにつれて増加する傾向がみられた。
- ・4月以降はワナかけ日数と捕獲数が比例して増加する傾向がみられた。

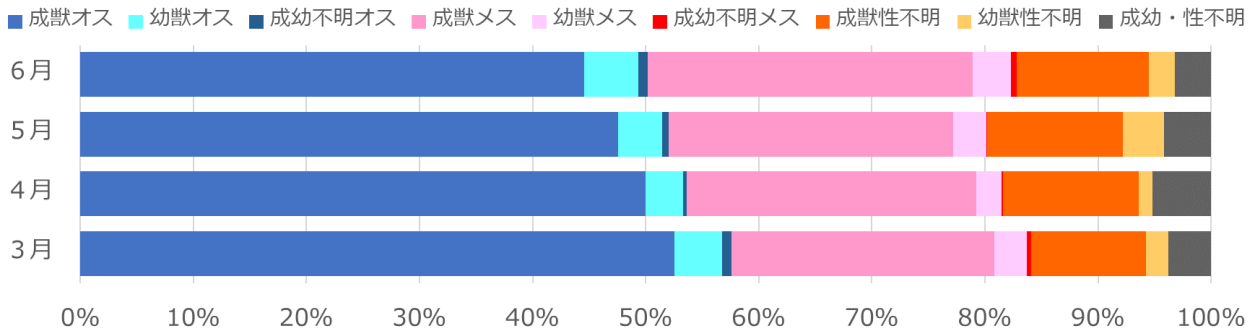


(3) 捕獲固体の内訳

- ・成獣の場合、捕獲数の少ないオホーツクを除き、オスの捕獲数はメスの1.5～2倍程度であったが、幼獣ではその差はより小さかった。
- ・性判別率は、44%～100%と振興局によって大きな差があり、全道平均では82%であった。
- ・成獣・幼獣の判別率は、概ねどの振興局も高く、全道平均では95%であった。
- ・性別でみると、季節が進むにつれて緩やかにオスの割合が減少する傾向が認められた。

振興局	内訳別捕獲頭数									合計	性判別率	成幼判別率
	成獣			幼獣			成幼不明					
	オス	メス	不明	オス	メス	不明	オス	メス	不明			
空知	1,639	909	99	151	98	57	0	0	0	2,953	95%	100%
石狩	445	231	338	47	48	11	0	0	35	1,155	67%	97%
後志	862	455	257	76	46	27	0	0	56	1,779	81%	97%
胆振	619	401	124	115	110	29	0	0	356	1,754	71%	80%
日高	761	395	209	42	24	0	0	0	0	1,431	85%	100%
渡島	0	0	0	0	0	0	12	13	0	25	100%	0%
檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
上川	748	401	83	72	32	26	6	6	23	1,397	91%	97%
留萌	300	137	20	4	5	114	0	0	0	580	77%	100%
宗谷	341	167	2	8	5	3	26	17	17	586	96%	90%
オホーツク	6	11	19	0	0	3	0	0	0	39	44%	100%
十勝	306	178	294	13	5	31	43	5	3	878	63%	94%
釧路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
根室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	6,027	3,285	1,445	528	373	301	87	41	490	12,577	82%	95%

月別の捕獲個体内訳割合



区分	3月		4月		5月		6月		合計	
成獣オス	1,408	(53%)	1,036	(50%)	1,533	(48%)	2,050	(45%)	6,027	(48%)
幼獣オス	113	(4%)	69	(3%)	126	(4%)	220	(5%)	528	(4%)
成幼不明オス	22	(1%)	6	(0%)	19	(1%)	40	(1%)	87	(1%)
成獣メス	622	(23%)	530	(26%)	812	(25%)	1,321	(29%)	3,285	(26%)
幼獣メス	77	(3%)	47	(2%)	93	(3%)	156	(3%)	373	(3%)
成幼不明メス	11	(0%)	3	(0%)	4	(0%)	23	(0%)	41	(0%)
成獣不明	272	(10%)	248	(12%)	387	(12%)	538	(12%)	1,445	(11%)
幼獣不明	53	(2%)	25	(1%)	117	(4%)	106	(2%)	301	(2%)
成幼・性不明	101	(4%)	108	(5%)	134	(4%)	147	(3%)	490	(4%)
合計	2,679		2,072		3,225		4,601		12,577	